

長浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地方創生交付金事業検証シート(令和5年度)

事業名	地域資源を活かした多様な人材による共創型課題解決プロジェクト		事業タイプ	横展開タイプ
事業始期	令和5年度	事業終期	令和7年度	
担当課・室	こども若者応援課、北部産業振興課、市民活躍課			

総合戦略における位置づけ	基本目標	多様で柔軟な「働き方の創造」 長浜に人を呼び込む「活躍の場創出」			
	基本的方向	持続できる農林水産業への支援 「移住・定住」と「U・I・Jターン」の促進			
	基本目標・基本的方向の数値目標	指標	現状値	目標値	実績値
		木育活動事業実施回数(累計)	3回(R4年度)	10回(R10年度)	7回(R5年度)
空き家バンク等市施策を通じた移住件数(累計)		47件(R4年度)	125件(R10年度)	38人(R5年度)	
	「移住・定住につながる居住環境の整備」に関する満足度(市民意識調査)	2.92点(R4年度)	3.02点(R10年度)	2.97点(R5年度)	

交付金事業の概要	<p>■担い手等の確保を解決するための取組</p> <p>*課題解決スキームの形成</p> <p>コネクティブ・インパクトの手法や地域商社の創出を通じ、持続可能な地域課題の解決スキームを検討する。</p> <p>【長浜市】</p> <p>○活動者の人材育成及び連携関係の構築を軸とした森林マッチング推進事業(委託料:7,323千円)</p> <p>身近な森づくり活動等を通じて、地域住民や企業、教育機関等が協力者・実践者として、外部人材とともに地域資源の活用に携われる環境構築に取り組むことで、地域内外の多様な人材の参画と森林資源の利活用の拡大により、農山村地域の活性化を目指す。</p> <p>*受け入れ基盤の整備</p> <p>地域外の人材の受け入れ基盤を整備することで、持続可能な地域課題解決スキームの確立をめざす。</p> <p>【長浜市】</p> <p>○テレワーク・ワーケーション・副業・兼業人材受入態勢構築事業(委託料:7,850千円)</p> <p>空き家を活用し、移住者や企業、学生等との連携の拠点、二地域居住といった地域に新しい可能性をもたらす活用を促進する他、空き家の情報や移住者希望者、移住後のネットワークをデジタルによりつなぎ、どこからでも気軽に相談対応できる体制を構築する。</p>				
	金額(千円)	総事業費(対象外含)	交付決定額	交付実績額	
		15,173	6,811	6,586	
		重要業績評価指標(KPI)	現状値(R1)	目標値(R7)	実績値(R5年度)
		地域課題解決プロジェクト組成数	-	19件(R5~R7累計)	5件
		プロジェクトにかかわる人数	-	170人	30人
		プロジェクトにかかわる中間支援団体数	-	27団体(R5~R7累計)	5団体
	滋賀県の知名度向上(魅力度ランキング)	38位	35位	36位	

「実施結果」 「課題・今後の方向性」など	<p>●活動者の人材育成及び連携関係の構築を軸とした森林マッチング推進事業[北部産業振興課]</p> <p>■実施結果</p> <p>森林資源活用の実践者養成については、チェーンソーや刈払い機などの作業免許が取得可能な講習会及びノコギリやナタの取り扱い、ロープワークなど、林業に取り組む上で必要となる機材、道具の使い方を連続講座として実施。また、講習会に参加した方々の活動フィールドの整備や、資機材の貸し出しなどを行い、林業実践者の育成に努めた。</p> <p>情報発信については、各種媒体(プレスリリース、HP、メールマガジン、SNS(Facebook、Instagram等))を活用し、計400回を超える情報発信を行い、森林活動に興味のある層に、効果的な情報発信を行うことができた。</p> <p>■課題感・今後の方向性</p> <p>今後、実践者養成に関しては、機器類の取り扱い上達に留まるだけでなく、生産した素材の活用方法を探り、意欲ある実践者が主体的に活動を継続できるような仕組みを検討する。また、そういった実践者と多様な人材・団体と結びつけることで、交付金終了後に自立できるような環境を構築・維持する。</p> <p>情報発信については、興味のある層(HPやSNSを定期的に確認している層)には十分な発信ができたと思うが、森林活動人口の増加に繋げていくためには、より大きな間口で情報発信を行っていかねばいけない。</p> <p>例えば、イベント情報だけでなく、森林資源の魅力発信や森林資源の活用方法など、イベントに参加できなくても自宅でも木や森に関われるような情報発信を通じて、森に興味をもってもらう等の仕掛けを行う。</p>			
	<p>●テレワーク・ワーケーション・副業・兼業人材受入態勢構築事業[未来こども若者課]</p> <p>■実施結果</p> <p>(1)移住相談窓口の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住コンシェルジュ等が常勤して、移住希望者等からの電話やメール等による相談などの対応を行った。 ・移住相談窓口…月曜日～金曜日の10:00～16:00(祝日、年末年始を除く) R5年度相談件数:845件 <p>(2)移住者獲得に向けた情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長浜市移住定住支援ウェブサイト「ナガハマキャピタル」において、空き家物件情報を随時更新し、移住者の暮らし等を掲載。 ・Facebookや中日新聞の折込「さざなみ通信」において、移住者の暮らしや空き家の活用方法等について情報発信を行った。 <p>(3)空き家バンクの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家を活用したい方の相談に応じ、空き家調査やバンク登録を行うとともに、見学対応や地元自治会の調整等を行った。 ・R5年度空き家バンク登録件数:70件 R5年度空き家調査件数:46件 R5年度新規登録件数:38件 <p>(4)移住セミナー、空き家見学ツアーの開催等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SMOUTオンライン移住イベント等、各種移住イベントに出展し、多くの移住検討者の相談対応を行った。 ・空き家見学ツアーを実施し、市内の空き家見学や、移住者との交流会を行った。 ・移住者同士のネットワーク化に向けて、直近5年間に市内へ移住した人を対象にWEBアンケートを実施した。 <p>■課題・今後の方向性</p> <p>空き家物件の問合せや見学の対応等は随時行っているところであるが、円滑な移住に向けて、移住検討者が長浜市内の暮らしや環境等をさらに知っていただけるよう、引き続き、デジタルを活用した有益かつ魅力的な情報発信を行っていく。</p>			